１２人の怒れる男（2007）

12

メディア 映画
ジャンル ドラマ　サスペンス
製作国　ロシア
色彩　Color
時間　160分
初公開日 2008/08/23
公開情報 ヘキサゴン・ピクチャーズ＝アニープラネット

【キャッチコピー】
少年の運命は、12人の陪審員に委ねられた

【解説】
　シドニー・ルメット監督による不朽の名作「十二人の怒れる男」を、ロシアの名匠ニキータ・ミハルコフ監督が現代のロシアに置き換えてリメイクした緊迫の法廷ヒューマン・サスペンス。有罪確実と思われた裁判の評決を巡り、思いがけず議論白熱となる12人の陪審員の姿を通して、人を裁くことの難しさや現代ロシアが抱える様々な社会問題を描き出す。
　ロシアのとある裁判所で世間の耳目を集めたひとつの殺人事件が裁かれていた。被告人はチェチェンの少年。養父であるロシア軍将校を殺害した罪に問われ、検察は最高刑に当たる終身刑を求刑。３日間の審理も終わり、残すは12人の陪審員による評決を待つばかりとなる。いくつもの状況証拠から、有罪は誰の目にも明らかと思われた。陪審員たちの中にも簡単に済ませてしまおうとの空気が流れ、直ちに挙手による投票が行われた。ところが、11人が有罪に手を挙げる中、ただひとり、陪審員１番の男だけが遠慮気味に無罪に１票を投じる。有罪票を投じた男たちは、陪審員１番の思いがけない行動に不快感を露わにするが…。

【クレジット】

監督	ニキータ・ミハルコフ	Nikita Mikhalkov	
製作	ニキータ・ミハルコフ	Nikita Mikhalkov	
	レオニド・ヴェレシュチャギン	Leonid Vereschagin	
脚本	ニキータ・ミハルコフ	Nikita Mikhalkov	
	ヴラディミル・モイセイェンコ		
	アレクサンドル・ノヴォトツキイ＝ヴラソフ	Aleksandr Novototsky-Vlasov	
撮影	ヴラディスラフ・オペリヤンツ	Vladislav Opelyants	
美術	ヴィクトル・ペトロフ		
音楽	エドゥアルド・アルテミエフ	Eduard Artemyev	
出演	セルゲイ・マコヴェツキー	Sergei Makovetsky	陪審員１
	ニキータ・ミハルコフ	Nikita Mikhalkov	陪審員２
	セルゲイ・ガルマッシュ	Sergey Garmash	陪審員３
	ヴァレンティン・ガフト	Valentin Gaft	陪審員４
	アレクセイ・ペトレンコ	Aleksei Petrenko	陪審員５
	ユーリ・ストヤノフ	Yuri Stoyanov	陪審員６
	セルゲイ・ガザロフ	Sergei Gazarov	陪審員７
	ミハイル・イェフレモフ	Mikhail Yefremov	陪審員８
	アレクセイ・ゴルブノフ	Aleksey Gorbunov	陪審員９

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

セルゲイ・アルツィバシェフ	Sergei Artsybashev	陪審員10
ヴィクトル・ヴェルズビツキー	Viktor Verzhbitsky	陪審員11
ロマン・マディアノフ	Roman Madyanov	陪審員12
アレクサンドル・アダバシャン	Aleksandr Adabashyan	廷吏
アプティ・マガマイェフ	Apti Magamaev	ウマル

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.